

横浜実践看護専門学校

平成28年度自己点検評価項目の達成および取組状況

1. 教育理念・目標		適切：4 やや適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1	エビデンス
1	1 学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3 2 1	・学生便覧P25「教育計画」 ・学生生活の手引きP3
	2 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を描いているか	④	3 2 1	・学生便覧の各学年の到達目標に記載
	3 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3 2 1	・学生便覧P25「教育計画」 教育目的・目標に記載
	4 理念・目的・目標育成人材像・特色などが学生、保護者等に周知されているか	4	③ 2 1	・新入生入学直前オリエンテーション・戴帽式時保護者説明会及び宿泊ガイダンスにて周知

①現状と課題

- 学校の理念・目的・人材育成像について、学生には入学時の新入生ガイダンスと宿泊ガイダンスにおいて、保護者に対しては、11月の戴帽式後に保護者説明会を実施して説明をしている。ガイダンス・説明会の欠席者に対する、より効果的なフォローや、保護者との共通理解をより早い段階で深める取り組みについて検討している。

②今後の対策

- 実践的な職業教育への理解をより深めるため、入学時の学生を対象とする新入生ガイダンスに加え、入学後1か月以内に保護者対象の職業教育に関する説明会の開催を検討する。学生の成長や学びを支え自立を促す家庭の役割は、職業教育において重要であり、保護者と学校との円滑な関係を築くことは、国家試験合格に向けた学生の学習意欲の向上に繋がるため、学校から積極的に保護者へ働きかけ、家庭と学校でのダブルサポートを徹底していく。
- 保護者ガイダンスへの出席率をより高めるために、計画的な日時設定と周知（詳細の送付、出欠席はがき送付等）を行い、ガイダンス欠席者には実施後に必ず資料を郵送する。

2. 学校運営		適切：4 やや適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1	エビデンス
2	1 目標等の沿った運営方針、事業計画が策定されているか	④	3 2 1	・校務分掌規程 ・年度当初に事業計画を策定し、責任者を配置して、進捗状況を管理している。
	2 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか	④	3 2 1	・組織図、会議等に関する規程
	3 人事・給与に関する規定は整備されているか	④	3 2 1	・就業規則、給与規程、業務評価に関する規定。
	4 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3 2 1	・臨地実習契約書、個人情報・プライバシーの保護の徹底。 ・事故発生時マニュアルを策定。
	5 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③ 2 1	・平成27年度より自己点検評価を実施し、ホームページにて公開。
	6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3 2 1	・学生の情報を一元管理した「学習支援システム」、就職支援のための「就職支援システム」を活用。

①現状と課題

- ・ 学生や保護者からの問合せは、校長・副校長・教務主任・学年担任を中心に対応している。問合せ内容については、平成28年度で3学年が定員を満了し、改めて内容の精査と対応マニュアルを策定している。対応については、定期ミーティングや定例会議を通じ、教職員間においてより綿密な情報共有を行っている。
- ・ 看護学生臨地実習の委託に関し、賠償責任や個人情報の保護等における規程を記載した「看護学生臨地実習契約書」を全実習施設と交わしている。学生保護とコンプライアンス体制の更なる強化のため、臨地実習契約内容の精査を行うことを検討している。

②今後の対策

- ・ 学生や保護者からの今までの問合せ内容・対応等を踏まえ、マニュアルの更なる具体化・細分化を図っていく。
- ・ 「看護学生臨地実習契約書」について、学生保護をより強化するため、守秘義務、遵守事項、事故等の取扱いにおける保険適応に関する文面の精査を行う。

3. 教育活動		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1	エビデンス			
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	④	3	2	1	・ 学生便覧P28「構造図」 ・ 学生便覧P29「学科進捗表」 ・ 教育理念・目的・目標に沿ったカリキュラム作成・知識・技術・態度を含めた実践力の向上のためのカリキュラム編成と演習・実習時間の確保。
2	教育理念・育成人材像や看護師需給を踏まえた修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確か	④	3	2	1	・ 学生便覧P29「学科進捗表」 ・ 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める基準に基づき、3,000時間100単位と定めている。
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	・ 学生便覧P28「構造図」 ・ 学生便覧P29「学科進捗表」 ・ 基礎、専門基礎、専門科目の順に進度と学習内容を体系づけている
4	キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	・ 施設見学、臨地実習（1,035時間）がカリキュラムに組み込まれており、学生の実践力を涵養。 ・ 研究授業の実施。
5	関係施設等、業界団体との連携により、カリキュラムの教育方法の作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1	・ 毎年2回、実習前に実習施設との連絡協議会実施。 ・ 毎年2回、平成28年度より教育課程編成委員会を実施。 ・ 実習指導者会議を実施し、指導体制意見交換を検討。
6	関連分野における実践的な教育が体系づけられているか	④	3	2	1	・ 学生便覧P29「学科進捗表」 ・ 順序性、領域ごとに学習内容が規定されている。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	・ 自己点検・自己評価委員会を組織化し実施。授業・実習評価を実施。
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	・ 学生便覧P9「施行規則」

9	資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験対策として模擬試験を1年次より実施。 ・ 国家試験の傾向と対策について教員が模擬試験実施会社、出版社より情報を得て指導。指導研修会への参加。 ・ 専門外部講師による補講、実習後に領域別国家試験問題取り組み。 ・ アドバイザーによる弱点問題の指導。
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員資格取得者を採用し、専任教員養成未受講教員については計画的に研修を実施。 ・ 外部講師については、看護教育に携わった経験講師を採用。 ・ 本校の教育目標を説明し、シラバスを提示・協力依頼。
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学会、研修会の積極的な参加後教員に伝達講習会を実施。 ・ 実践力向上のために専門領域に該当する実習病院にて研修を実施。
12	職員の能力開発のための研修が行われているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーシップ研修、目標管理研修、ファシリテーター指導に積極的に参加。

①現状と課題

- ・ 専任教員の専門的知識及び技術、職業教育における実践力を更に高めるため、研修内容を精査している。
- ・ 学生が学びに活用しやすいよう、シラバスの学習内容をより具体的な表現で追記することを進めている。例えば本校がスクールカウンセラーを配置し、学生のメンタル面のサポートをしているように、精神看護学のシラバスの中で科目のねらいとしてメンタルの支援について追記する等、学生により実学的な内容の導入を進めていく。

②今後の対策

- ・ 研修内容の精査を踏まえて、教員研修規程を策定し、研修の充実を図っていく。
- ・ 専任教員の教育実践力向上のために、教育学習支援システム、学生アンケート等を基とする授業評価の分析結果を踏まえた研修、更には専門領域に該当する臨地実習病院にて研修を実施していく。
- ・ 臨床現場との連携を図り、ユニフィケーションの一環として、臨地実習病院を中心に学校への専門領域講師派遣を依頼し、専任教員に対し臨床現場における最新知識・技術に関する研修も実施していく。

4. 学修成果		適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1	エビデンス
1	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任、アドバイザーに加え学内就職担当・就職指導部による総合的なサポートにより就職支援を行っている。 ・ 模擬面接、履歴書の書き方、接遇について指導。 ・ 就職確定率100%達成に向け採用試験時期の相談に応じている。 ・ 学内に実習病院を招き学内合同病院就職説明会を2年次の3月に実施し早期に就職の意識付けを行う。
4	2 資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験合格率100%を目指しグループによる試験対策を随時実施。 ・ 自宅学習時間確保の指導、学習環境の調整

3	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主な退学理由：体調不良（疾病）、進路変更、経済的理由。 ・経済的理由による退学者については定期面談を実施し、奨学金案内等の早期対応をする。 ・平成28年度退学率は5.7%。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生は担任・アドバイザー面接でスポーツの活躍、ボランティア活動などを把握している。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生輩出後、校友会を通し卒業後の動向を把握していく。

①現状と課題

- ・問題を抱える学生の早期発見のため、担任・アドバイザーによる定期面談を実施し、学業不振や対人関係等の問題が見られる場合には迅速なフォローを行っている。また、校医、スクールカウンセラーを配置するなど、健康面のフォロー体制も整えている。突発的な進路変更や保護者の失職による経済的困窮等にも対応できるよう、担任を中心にアドバイザーや実習担当教員との情報共有を徹底し、充実したフォローアップ体制を整えている。

②今後の対策

- ・複合的な理由や急変事項による退学を防止するために、問題を抱える学生には担任・アドバイザーに加え教務主任も同席し、ダブルサポート体制でより精度の高い定期面談を実施する。学生支援システムを活用して、教職員全体での情報共有と学生へのフォローアップを徹底していく。

5. 学生支援		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1				エビデンス
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、アドバイザーに加え、就職担当と就職指導部が連携し就職支援に当たっている。 ・学内合同病院就職説明会の実施。 ・模擬面接、接遇研修の実施
2	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では担任、アドバイザー、実習担当教員がサポートしている。 ・健康面は校医、スクールカウンセラーがサポートしている。 ・学校生活全般、経済的な面は担任、アドバイザー、事務局の担当者が対応している。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜実践看護専門学校特待生制度 ・岩崎学園看護師育成基金 ・岩崎学園奨学生 ・学費分割納入制度 ・学生寮
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎に健康診断を実施。 ・校医による健康診断後の指導、看護教員による健康相談を適宜実施 ・カウンセラーによるカウンセリングの実施
5	5 課外活動に対する支援体制は整備できているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの参加等学生が自主的に時間を作り他校と活動している。
6	6 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学生寮、学生会館の提供。その他の相談は担任、アドバイザーが行っている。定期面談の実施。

7	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	・入学直前オリエンテーション、 戴帽式時保護者説明会に保護者に 学校生活、学習状況を説明してい る。
8	卒業生の支援体制はあるか	4	③	2	1	・岩崎学園校友会
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	・臨床看護スタッフの技術演習、 シミュレーション教育研修の実 施。
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職 業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1	・高校生の来校対応、高校生への 模擬授業の実施、高校訪問で看護 師について説明をして看護師養成 の理解を求めている ・神奈川県専修学校各種学校協会 の協力を得て、「総専協夏季連携 講座（看護師系）」開校。 ・高校進路担当教員へ合同説明会 を実施し、看護師希望者に繋げ る。

①現状と課題

- ・入学直前オリエンテーションや、戴帽式時に保護者説明会を実施しているが、学校生活の様子や学習の状況等について適宜情報を共有し、保護者と連携して教育活動を行うために、保護者会を長期休暇（夏休み等）明けに開催する等、開催時期について改めて検討をしている。
- ・卒業生を初めて輩出し、連絡体制を整備している。卒業生の就職後のリアリティショックによる早期離職の防止、状況把握やフォローアップについての施策を検討している。

②今後の対策

- ・担任制の更なる充実と、保護者との連携を強化することで、学校と家庭でのダブルサポート体制を充実させ、学生の状況把握や学習支援、生活支援を進めていく。また、学生支援体制を強化するために、学習支援システムの活用に加え、教員会議においても綿密な情報共有を行う。
- ・卒業生を対象とするカミングデイを設けて、卒業生のニーズや就職後の状況を把握し、リアリティショックによる早期離職の防止となる支援を行っていく。また、学年間交流の機会を定期的に図り、学習支援や生活支援の輪が広がるような工夫をしていく。

6. 教育環境		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1				エビデンス
6	1 施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2	1	・指定規則に沿った必要な教材の 確保はできている。 ・設備は教室・看護実習室及び各 演習室、図書室。
	2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場などについて十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	・入学後ガイダンスのため生産性 国際交流センターなど活用した宿 泊研修を実施。 ・単位取得に必要な臨地実習施設 の確保。 ・インターンシップは学生が主体 的に計画・実施している。 ・海外研修は台湾嘉義市崇仁医護 管理専科学校と交流。
	3 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	・学生、教職員を含めた全員参加 の防災訓練を定期的実施。不審 者侵入を想定し防犯訓練実施。 ・消火器や消火梯子等防災機器の 設置個所、使用方法の説明・体 験。 ・緊急連絡網の作成。

①現状と課題

- ・ 教育環境は問題なく整備されている。

7. 学生受入れ募集		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1	エビデンス			
7	1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っている。	④	3	2	1	・ 進路ガイダンス、学校説明会、オープンキャンパス、学校訪問等で情報の提供。 ・ 専門学校案内雑誌等で学校紹介を実施。
	2 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	・ 平成29年度生 学生募集要項 ・ 入学案内書に学校の理念、教育目的・目標、教育課程を掲載して学校の特徴をHP等にて公開している。 ・ 電話での問合せや、来校者には個別対応を実施。
	3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1	・ 入学案内書、高校訪問、進学ガイダンス、ホームページにて紹介。
	4 学生納付金は妥当なものになっているか	④	3	2	1	・ 平成29年度生 学生募集要項

①現状と課題

- ・ 学生受け入れ募集については、適正に実施されている。

②今後の対策

- ・ 引き続き学生受け入れ募集について、高等学校の進路担当教員と連携していきながら効率的に進めていく。また、学校説明会での卒業生スペシャルトーク等、卒業生との連携による学生受け入れ募集活動の充実もより図っていく。

8. 財務		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1	エビデンス			
8	1 中長期的に学校の財務基盤は安定していると見えるか	④	3	2	1	・ 平成26～28年度 決算書
	2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	・ 平成27～29年度 予算書
	3 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	・ 独立監査法人の監査報告書（平成28年度）
	4 財務情報公開監査の体制整備はできているか	④	3	2	1	・ ホームページにて公開。

①現状と課題

- ・ 財務状況は適正である。

9. 法令等の遵守		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1	エビデンス			
9	1 法令、保健師助産師看護師法、専門学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	・保健師助産師看護師学校養成所指定規則等に基づき、行政指導を受けながら適正に運営できている。
	2 個人情報に関し、その保護のため対策が取られているか	④	3	2	1	・入学試験願書書類、成績表、実習記録、患者受持承諾書など教職員も管理を厳重に鍵をかけ、学生情報の守秘義務は徹底している。 ・学生には倫理的配慮も講義や指導で意識させている。
	3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1	・自己点検評価を平成27年度より実施。
	4 自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1	・自己点検評価を実施。平成27年度実施分よりホームページにて公開。

①現状と課題

- ・平成27年度より自己点検評価について情報公開している。2年間の実施を基に、点検項目や評価基準及び手法等の妥当性について精査を進めている。

②今後の対策

- ・点検項目や評価基準及び手法等の妥当性についての精査に加え、卒業生に対するアンケートの実施や臨床現場との連携を図り、ユニフィケーションの一環として、臨地実習病院の実習指導者による学校への評価の導入等を進めていく。また、外部講師に対しても自己点検評価結果を共有し、実践的な職業教育の向上や学校運営の適正化についてアドバイスを求めていく。

10. 社会貢献・地域貢献		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1	エビデンス			
10	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	④	3	2	1	・「総専協夏季公開講座」(夏休み1講座)の実施による高校生の受入。 ・独自に近隣中学校と連携し看護教材を使った「いのちの授業」を実施。
	2 ボランティアなどの社会活動に参加しているか。	4	③	2	1	・神奈川県との包括協定にて、各種スポーツイベントへの救護活動や高齢者健康保持コグニサイズ普及活動へのボランティア参加。

①現状と課題

- ・学生は時間を有効活用して、積極的にボランティア活動に参加している。

②今後の対策

- ・学生の特質や希望等を把握し、地域連携講座や神奈川県との包括協定等、社会活動の実施内容と照らし合わせた上で、学生に活動内容の紹介をしていく。併せて、年間計画と具体的な活動内容を全学生へ事前に周知し、学生が主体的に参加計画が立てられるようにしていく。

11. 国際交流		適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1				エビデンス	
11	1	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1	・入学選考規定（入学資格審査項目）
	2	国際交流を意識した授業科目が設置されているか	④	3	2	1	・基礎分野「国際文化交流」の設置。
	3	国際的視野を広げるための学習環境を整えているか	④	3	2	1	・「国際文化交流」において、台湾への海外研修を実施。

①現状と課題

- ・ 留学生の受入体制は整備はされているが、平成28年度において入学志願者はいなかった。

②今後の対策

- ・ 特になし。